

2010年6月27日

## 地域医療連携ソリューション事業で、NEC・三洋電機・CSIが協業

日本電気株式会社(NEC)、三洋電機株式会社(三洋電機)、株式会社シーエスアイ(CSI)の3社は、地域医療連携ソリューション事業において協業することとしました。

本協業は、NECとCSIが推進している地域医療連携ソリューション事業に三洋電機が新たに参画するものです。NECとCSIではこれまで、地域における中核病院・専門病院・療養型病院の診療情報を共有するソリューションを提供してきました。今回、診療所向け電子カルテシステムで国内シェア1位を有する三洋電機の参画により、診療所による診療情報の公開・共有も迅速かつ低コストで実現可能となります。

NEC・三洋電機・CSIはこれまで、電子カルテシステムの開発・販売において連携を進めており、このたびの協業は、この連携をサービス事業に拡大するものです。

NECとCSIは、電子カルテシステムと地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」(アイディーリンク)を接続して情報公開を行う「地域医療連携ソリューション」を2009年7月から販売しています。

「ID-Link」は、様々な医療施設に分散されている診療情報を患者番号(患者ID)で統合して共有するサービスです。医療施設内の専用サーバに格納された診療情報を、サービスセンタを経由して各々が閲覧でき、さらにサービスセンタには診療情報は保管されない安心・安全な仕組みとなっています。

これまで、地域医療における情報連携においては、中核病院や専門病院などの病院が診療情報を公開し、診療所は閲覧のみという利用方法が主でした。しかし昨今、生活習慣病の治療や在宅医療等をより効果的に行うために、診療所も診療情報を公開し、病院が診療所の診療情報を閲覧したり、診療所間の情報共有を行いたいといったニーズが高まりつつあります。

こうした市場ニーズを背景に、三洋電機の診療所向け電子カルテシステムを「ID-Link」に接続することで、診療情報の公開・閲覧の範囲が大きく広がります。

あわせて、NECは、「ID-Link」の診療所向け価格を見直し、本年10月より従来比約40%の低価格化(従来:7,000円/月→新価格2,980円/月)を行います。また、診療所が「ID-Link」にセキュアに接続するための「オンデマンドVPNセットプラン」も新たに提供開始します。

これらにより、各医療施設が従来以上に診療情報を共有しやすくなり、地域医療の連携強化や医療サービスの向上が可能となります。

地域医療連携ソリューションの概要は以下のとおりです。

- 「地域医療連携ソリューション」は、(1)電子カルテシステム、(2)地域医療連携ネットワークサービス「ID-Link」、(3)電子カルテシステムを「ID-Link」に接続して診療情報を公開するのに必要な機能を予め組み込んだ専用サーバ(診療情報公開用サーバ)の3つで構成される。
- 電子カルテシステムは、大規模病院向けに NEC が「MegaOakHR」(メガオークエイチアール)、中小規模病院向けに CSI が「MI・RA・Is(ミライズ)シリーズ」、診療所向けに三洋電機が「Medicom(メディコム)-DP/X、Medicom-HR」を提供。

以上